

議 事 録

報告事項	令和6年度第2回会津若松市地域公共交通会議
日 時	令和6年6月25日（火）14:00～14:30
場 所	生涯学習総合センター 多目的ホール

○出席者
会議資料のとおり。

○次第及び内容

1. 開 会

2. 会長あいさつ

会議の案件は、令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する認定の申請と会津若松市地域公共交通計画の変更についてである。忌憚のないご意見いただくとともに、円滑な議事運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3. 議 事

- (1) 議案第5号 令和7年度会津若松市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
→質疑なく、原案のとおり承認。
- (2) 議案第6号 会津若松市地域公共交通計画の変更について
→質疑なく、原案のとおり承認。
- (3) その他
→特になし。

4. その他

【各交通事業者から運行状況等の共有】

(交通事業者1)

路線バスに関しては、コロナ禍前の8割強で推移している。現在、ICカードへの移行により、回数券の売り上げに影響が出ているが、この影響が無ければ9割ほどになると予想している。一方で観光面に関しては、修学旅行の需要が秋に集中している傾向もみられ、コロナ禍前の7、8割で推移している。同じく修学旅行が秋口に集中した昨年度と比較すると120%程度で推移している。

(交通事業者2)

市内のタクシーの稼働については、コロナ禍前の6割強で運送収入は75%程度。中通りやいわきにおいては、6割ほど。会津は流動人口が見込めるので、少しずつ回復が見られる。ただ、夜間においては、タクシーの稼働・乗車率もまだ低いというのが現状である。また、事業者も23時、24時くらいまでしか台数をそろえられない実情もある。

(交通事業者3)

乗合は県全体だと6～7割程度。燃料高騰や運転士不足をみなさん気にされているところだが、貸し切りでも需要があっても運転士がないという現状も聞いている。厳しい状況だが、業界としては、乗務員不足に対する合同説明会を開催する予定である。

(交通事業者4)

みなさまにはお世話になっており、この場を借りて感謝申し上げます。鉄道に関しては、8割程となっている。台湾からのインバウンドのお客様に団体・個人等多くご利用いただいている。また、国内の関西や北九州からの利用も増えている。引き続き順調にいけば、9割までの回復が見込まれる。

5. 閉 会